

吾等は昔は日本労働同盟に席を措き、当此の念(念)製鏡労働組合でもあつた。日労党の統一同盟分裂を当りて、我等は其の主義如何より、人的關係より針山部と守るためあり、なほしき統一同盟を去り、針山部の山友山に悪算計大敵を狭くするに、満二年、微力なりと云ふ今日、然るに彼の上党合同同盟の突如として起るや、吾等は民衆党との対立關係上、地方的情況を無視せる合同には極力反對を表明し、未も忘れて、吾等の意志を疎明したり。(中略)入党の上は、今後諸君と共に飲んでも果敢なる闘争を展開したいと思ひます。

大衆側

光吉悦心(合流の挨拶)

日労党の統一同盟脱退に當つては、針山部の干渉より、吾等の主義に相一致したる社会民衆党を高れたるであつた。されど今日の社会主義に線は四分五裂あり、而も日本労働党本部は無産党合同同盟に對して、何れも一受の方針を有たず、漸くして吾等は本部の意見を異にし、今一應、真に吾等と思想的立場を同じうするところの社民に歸し、親しき古くからの同志諸君と共に手を携はしく明るく運動を進めゆきたい念願から、合流の提議を

致した次第である。

五

水早林則

酒井重太郎

花山清太郎代表の演説を聞き、我々も驚かされたが、聯合会常任委員今日取委員のたのしみで、我々も驚かされた。思ふ。吾等水早林は、従来まことに、我等連合会に從事し、未だ、我等連合会、田川の同人が、我等社民の旗の下に聚まる日も道はない。

五

聲明書に關する件(原案可決)

大衆側

宮崎若朗流

六

選挙方針に關する件(原案可決)

期會十時半